

資料：支援材料等の具体例

(1) アセスメント

■ 生活習慣チェックリスト（参加者用）(a1)

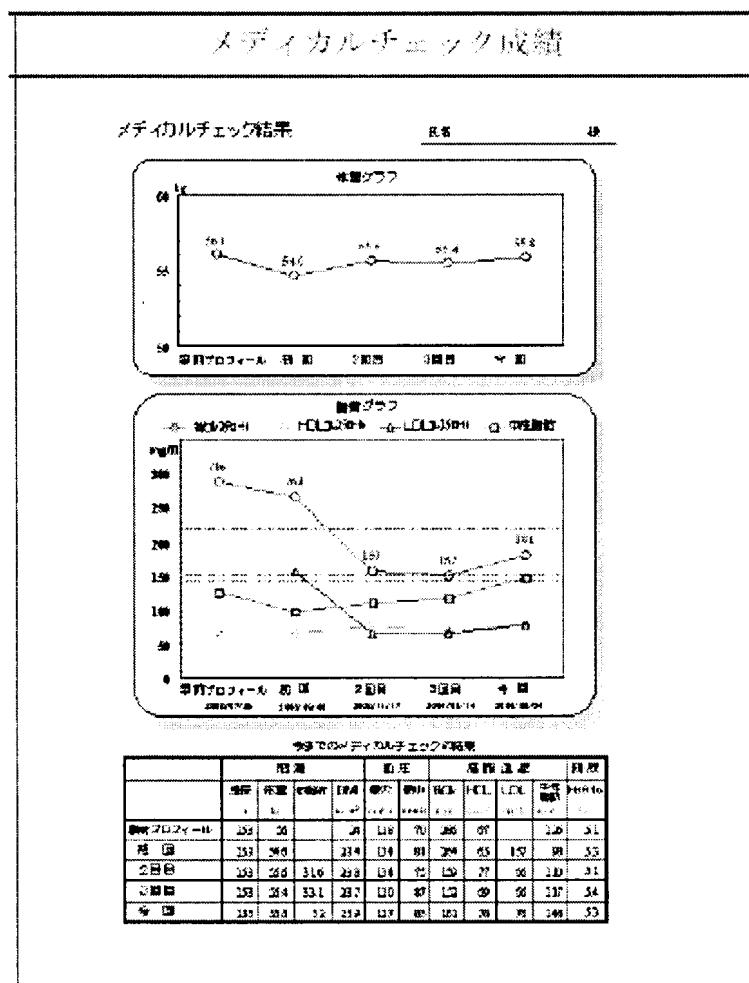
記入例		生活習慣チェックリスト				
		1月	2月	3月	4月	5月
チェック項目	マーク	評価	マーク	評価	マーク	評価
1 食事のバランスを意識している	△					
2 睡眠を確保している	△					
3 おなかいにぱいにしていることはしていない	△					
4 野菜を毎日100g以上摂取している	△					
5 飲酒を控えている	△					
6 カリウムの多い果物、野菜をとる	△					
7 運動の量・量にあわせている	△					
8 朝食をとっている。ヨーグルト、果物類、卵、牛乳などを毎日摂取している	△					
9 食事は適量している	△					
10 食事時間に気をつけている	△					
11 運動量は一日1回まで	△					
12 食事は一日一回まで	△					
13 食事内容に迷っていないのに気がついている	△					
14 食事内容に迷っていないのに気がついている	△					
15 食事内容に迷っていないのに気がついている	△					
16 食事内容に迷っていないのに気がついている	△					
17 いつも、かみそりの、マッサージ、セルフケアをして	△					
18 運動量を増やしている	△					
19 食事の量を減らしている	△					
20 一日30分以上の運動を毎日2回以上行っている	△					
21 食事の量を減らしている	△					
22 食事の量を減らしている	△					
23 ストレス解消法がある	△					

■ 生活習慣チェックリスト（指導者用）(a2)

記入例		生活習慣チェックリスト														
生活習慣チェックリスト		生活習慣チェックリスト														
チェック項目	評定	6月			7月			8月			9月			10月		
		月	日	月	日	月	日	月	日	月	日	月	日			
生活習慣成績																
1. 健康のバランスを意識している	<input type="radio"/>															
2. 食事を意識してもらっている	<input type="radio"/>	1. 食事は意識せずに、カロリー・スパンコツ等の知識がないまま食事をする。マフもなし。														
3. おなかいはいがいいと感じて、食事とは無関係	<input type="radio"/>	2. 食事は意識せずに、カロリー・スパンコツ等の知識がないまま食事をする。マフもなし。														
4. 飲酒を箇所にひと山以上意識している	<input type="radio"/>	3. 飲酒を意識せずに、カロリー・スパンコツ等の知識がないまま食事をする。マフもなし。														
5. 飲酒量を毎食控え	<input checked="" type="radio"/>	4. 飲酒を箇所にひと山以上意識している。														
6. カルボムの多い食品・野菜・主食	<input type="radio"/>	5. 飲酒量を毎食控え。														
7. 飲酒の度へ過度に食をつけている	<input type="radio"/>	6. カルボムの多い食品・野菜・主食。														
8. 飲料水、牛乳・コーヒーなどを多く摂取	<input checked="" type="radio"/>	7. 飲酒の度へ過度に食をつけている。														
9. 飲酒度・飲酒量を一日1回までに	<input checked="" type="radio"/>	8. 飲料水、牛乳・コーヒーなどを多く摂取。														
10. フルーツ・野菜	<input type="radio"/>	9. 飲酒度・飲酒量を一日1回までに。														
11. 飲酒時に気をつけている	<input type="radio"/>	10. フルーツ・野菜。														
12. 運行歩・健歩を一日1回までに	<input checked="" type="radio"/>	11. 飲酒時に気をつけている。														
13. 運行歩・健歩を一日1回までに	<input checked="" type="radio"/>	12. 運行歩・健歩を一日1回までに。														
14. 跳跳を軽く過ぎないよう気をつけている	<input checked="" type="radio"/>	13. 一日歩は一日一歩までに。														
15. 飲酒度・飲・食・大食系品を毎日1回以上	<input checked="" type="radio"/>	14. 飲酒度・飲・食・大食系品を毎日1回以上。														
16. 飲酒量は減歩数を測る	<input checked="" type="radio"/>	15. 飲・食・大食系品を毎日1回以上。														
17. パーティーをやめ、マーガリン、アーモンド油	<input type="radio"/>	16. 大食系品は減歩数を測る。														
18. 運動量を維持している	<input checked="" type="radio"/>	17. パーティー、マーガリン、マーガリン、サラダ油。														
19. 自分の食生活を改善したい	<input type="radio"/>	18. 運動量を維持している。														
20. 一回30分以上の運動を週二回以上行っている	<input checked="" type="radio"/>	19. 向外の食生活を改善したい。														
21. 運動時に水分を取らかしている	<input type="radio"/>	20. 一日30分以上の運動を週二回以上行っている。														
22. 運動や休憩は十分にとれている	<input type="radio"/>	21. 表情的に汗を取らかしている。														
23. ストレス解消法がある	<input type="radio"/>	22. 運動や休憩は十分にとれている。														
		23. ストレス解消法がある。														

フェースシート (a3)

■ メディカルチェック成績 (a4)



／ 食事調査結果 (a5)

食事調査結果

企画調査結果

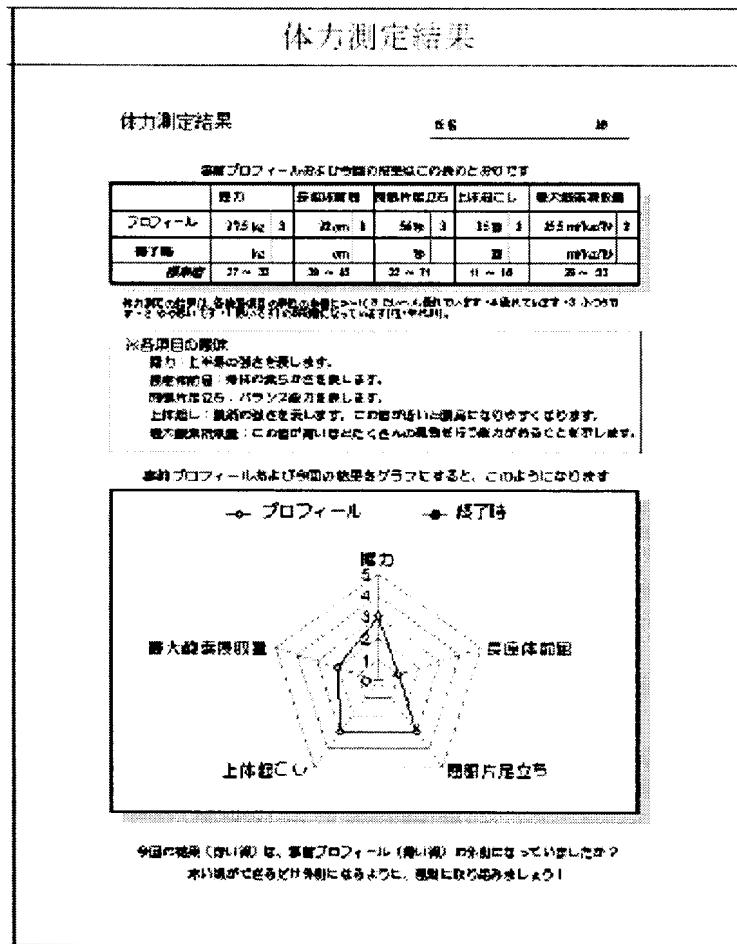
名前

性別

お魚	14.0	女性	41.7 - 24.4
パン類	0	女性	31.3 - 32.4
穀類	31.1	女性	41.7 - 37.0
各種肉類	24.7	女性	41.7 - 32.4
コレーストロールの多い食生活	15.1	女性	41.7 - 27.3
肉類摂取	11.7	女性	41.7 - 34.4
脂肪摂取(%)	2.9	女性	41.7 - 14.4
レバー、ミルク	6.2	女性	2.1 - 4.4
肉類加工(ハム・ソーセージ、ベーコン)	1.4	女性	4.1 - 14.4
大豆加工(豆腐、納豆)の多い食生活	38	女性	41.7 - 34.4
糖質などの主食	2	女性	14.1 - 24.4
油類(油、味噌等)	3.8	女性	11.7 - 14.4
ドレッシング	0.7	女性	2.1 - 4.4
チーズ	1.9	女性	2.1 - 4.4
マヨネーズ	0	女性	2.1 - 2.4
バター、チーズ、ベット	0	女性	1.7 - 2.4
卵	3.0	女性	4.1 - 14.4
牛乳類(脱脂乳等)	13.3	女性	41.7 - 4
豆腐加工(ヨーグルト)の多い食生活	0	女性	1.7 - 2.4
豆腐加工(ヨーグルト)の多い食生活	0.5	女性	1.7 - 2.4
豆腐加工(ヨーグルト)の多い食生活	0	女性	1.7 - 2.4
豆類摂取	14.9	女性	41.7 - 27.3
お肉摂取	17.1	女性	41.7 - 24.4
牛乳	29.0	女性	41.7 - 34.4
卵類	67.1	女性	41.7 - 34.4
糖質の多い主食	3.0	女性	2.1 - 14.4
その他の主食	2.9	女性	2.1 - 14.4
各種	1.2	女性	2.1 - 14.4
総合	0.6	女性	2.1 - 2.4
アヒル肉	2.1	女性	41.7 - 14.4

加工スルベー類	10.1 - 24
サンダリ貝	6.6
海藻類	2.9
加工化糖	21.6
加工油類	1.2
加工豆類	1.2
牛乳加工(ヨーグルト)	1.2
チーズ加工(ヨーグルト)	0.2
コレスチロール	10.5 - 24

■ 体力測定結果（a6）



個別相談重視型プログラム（滋賀県山東町）

(2) 支援

①知識・技術

／生活習慣病カード（c1）

表

生活習慣病

生活習慣病とは？

主に、運動不足、喫煙、栄養、生活、環境などの生活習慣因子による疾患で、心臓病、脳卒中、糖尿病、高血圧、肥満、骨粗鬆症、歯周病などがあります。生活習慣病は、慢性疾患です。

特徴…
毎日同じように同じことを繰り返す
自分の行動が自分の健康を害していることがない
自分自身で改善ができない

生活習慣病はなぜ危い？

危険な事	危険な原因
・生活習慣病のリスクがある	・運動不足
・喫煙	・喫煙
・栄養不全	・栄養不全
・生活環境	・生活環境
・骨粗鬆症	・骨粗鬆症
・歯周病	・歯周病
・骨粗鬆症	・骨粗鬆症
・骨粗鬆症	・骨粗鬆症

家庭みんなで生活習慣の改善を

生活習慣病は他の病気よりも多くなりやすく、また改善も難しい病気です。そのため、家族みんなで生活習慣を改善していることが大切です。特に、他の人のやることの多い生活習慣病には、自分たちのやることの多い生活習慣病にはならないよう

裏

どんなことに気をつけがいいの？

1. 朝起を遅延しないこと



朝起きる時間が遅くなると、一日の活動量が減ります。運動不足になると、筋肉の衰弱や骨密度の低下などの問題が発生します。また、朝食を抜くと、空腹感が強くなり、一日の活動量が減ります。

2. お風呂・バスなどを長時間する



お風呂やバスなどを長時間すると、体温が上がり、心臓の負担が大きくなります。また、浴室は湿気があり、呼吸器系の感染症のリスクが高くなります。適度な時間で、温めすぎないことが大切です。

3. 食事改善を実行する



食事改善を実行するには、野菜や果物を多く摂取する、糖質を減らす、脂質を減らすなどの方法があります。また、食事改善を実行するには、野菜や果物を多く摂取する、糖質を減らす、脂質を減らすなどの方法があります。

4. 睡眠障害を防ぐ



睡眠障害を防ぐには、就寝前の運動を控える、就寝前の食事量を減らす、就寝前の水分補給を控えるなどの方法があります。また、就寝前の運動を控える、就寝前の食事量を減らす、就寝前の水分補給を控えるなどの方法があります。

5. 動き運動を気をつけける



動き運動を気をつけけるには、歩く、階段を昇る、自転車に乗るなどの方法があります。また、歩く、階段を昇る、自転車に乗るなどの方法があります。

6. 生活の中でも意識して歩を歩かし、一週間分以上の運動を第二回目に行なう



生活の中でも意識して歩を歩かし、一週間分以上の運動を第二回目に行なうには、歩く、階段を昇る、自転車に乗るなどの方法があります。また、歩く、階段を昇る、自転車に乗るなどの方法があります。

7. たんぽぽを手作りする



たんぽぽを手作りするには、手作りのたんぽぽを購入する、手作りのたんぽぽを購入する、手作りのたんぽぽを購入するなどの方法があります。また、手作りのたんぽぽを購入する、手作りのたんぽぽを購入する、手作りのたんぽぽを購入するなどの方法があります。

8. お風呂の運営を変更する



お風呂の運営を変更するには、お風呂の運営を変更する、お風呂の運営を変更する、お風呂の運営を変更するなどの方法があります。また、お風呂の運営を変更する、お風呂の運営を変更する、お風呂の運営を変更するなどの方法があります。

9. 食事改善を実行する



食事改善を実行するには、野菜や果物を多く摂取する、糖質を減らす、脂質を減らすなどの方法があります。また、野菜や果物を多く摂取する、糖質を減らす、脂質を減らすなどの方法があります。

病態別カード (c2)

• 高血压治疗

表

高 血 壓 症

高血圧症とは?

高血圧症は、心臓から出る血液の量と血管の狭窄度によって、血液が全身を流れやすくなる病気です。

高血圧症は、心臓から出る血液の量と血管の狭窄度によって、血液が全身を流れやすくなる病気です。高血圧症は、心臓から出る血液の量と血管の狭窄度によって、血液が全身を流れやすくなる病気です。

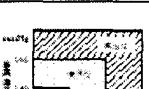
高血圧症は、心臓から出る血液の量と血管の狭窄度によって、血液が全身を流れやすくなる病気です。

高血圧症は、心臓から出る血液の量と血管の狭窄度によって、血液が全身を流れやすくなる病気です。

高血圧症には2種類あります

【1】原発性高血圧：高血圧で、原因のないものからなる高血圧です。

【2】二次性高血圧：高血圧を起す原因があるものからなる高血圧です。高血圧を起す原因があります。



山町の状況は？（血圧が高い人の割合）

年齢層	男性	女性
20歳代	10%	10%
30歳代	20%	20%
40歳代	30%	30%
50歳代	40%	40%

【注】山町の人口は、20歳代以下の約10%が高血圧で、40歳代以上の約40%が高血圧です。

【注】山町の人口は、20歳代以下の約10%が高血圧で、40歳代以上の約40%が高血圧です。

**高血圧症
なぜ高い？**

高血圧には、心臓から出る血液の量と血管の狭窄度があります。心臓から出る血液の量が多いと、血管の狭窄度が大きいと、血液が全身を流れやすくなります。

高血圧には、心臓から出る血液の量と血管の狭窄度があります。心臓から出る血液の量が多いと、血管の狭窄度が大きいと、血液が全身を流れやすくなります。

裏

高 血 壓 症

簡単で気をつけたいこと

1 食事の摂取は1日1kg未満にしよう

高血圧の発症が最も多くなる原因は食事によるものです。高血圧の発症が最も多くなる原因は食事によるものです。高血圧の発症が最も多くなる原因は食事によるものです。

A 適切な生活

- ・ 食事の摂取は1日1kg未満にしよう
- ・ 食事の摂取は1日1kg未満にしよう
- ・ 食事の摂取は1日1kg未満にしよう

B 運動の工夫

- ・ 運動の工夫
- ・ 運動の工夫
- ・ 運動の工夫

C 加工食品の取り扱い工夫

- ・ 加工食品の取り扱い工夫
- ・ 加工食品の取り扱い工夫
- ・ 加工食品の取り扱い工夫

D 外食は毎日が多いので警戒を

2 お酒、乳製品、豆類、野菜、果物を適量にとろう

お酒、乳製品、豆類、野菜、果物を適量にとります。お酒、乳製品、豆類、野菜、果物を適量にとります。お酒、乳製品、豆類、野菜、果物を適量にとります。



3 浴槽、温泉で食物補給をとろう

浴槽、温泉で食物補給をとります。浴槽、温泉で食物補給をとります。浴槽、温泉で食物補給をとります。



4 お酒は適度を守ろう

お酒は適度を守ります。お酒は適度を守ります。お酒は適度を守ります。



個別相談重視型プログラム（滋賀県山東町）

· 防止血瘤 ·

ヘルスアート

高齢曲生

● ● ●

高齢曲生とは?

高齢曲生を育む、コレステロール・リバーサル運動の活動家。高齢者にアドバイスを教える、高齢者自身がアドバイスをする、高齢者によるアドバイスをするなど、多岐にわたる活動を行なっている。

山鹿町の状況は? (コレステロールが高い人の割合)

年齢層	割合
60歳未満	34%
60歳以上	41%
70歳未満	47%
70歳以上	54%
80歳未満	56%
80歳以上	61%

高齢曲生は、高齢者の中でも特にコレステロールが高い人の割合が高い。特に70歳以上の高齢者では、61%もの人がコレステロールが高いとされています。

高齢曲生をなぜ作る?

高齢者たちは、コレステロールを一つの問題として見えておらず、またコレステロールが原因で病気にならなければ、他の病気には気が付かないのです。

- 頭痛、頭眩、一過性失聴等
- 大腿痛、筋肉炎や大腿筋膜
- 心筋梗塞、心筋症、不整脈、心不全
- 睡眠障害、覚醒不全
- 呼吸器系疾患、慢性湿疹、脚痙攣

逆にコレステロールを下げるには?

HDLコレステロール → リバーサル運動で高齢者を育む活動を行なう、高齢者によるアドバイス

HDLコレステロール → リバーサル運動で高齢者を育む活動を行なう、高齢者によるアドバイス

高齢者によるアドバイス

食事で気をつけたいことは?

1 からだによい油を選択しよう

脂昉を防ぐ、不動の精神喫ってなに?

おもな油質 1. 植物油(大豆油、ひまわり油、マーガリン) 2. 脂肪酸(牛乳、バター、チーズ) 3. 食用油(植物油)

高齢者には、油を多く摂取する傾向があります。そのため高齢者の多くが脂昉を防ぐために、脂昉を防ぐための油を選びます。

2 鹿肉、魚肉、大根葉、きのこ類を積極的にどうぞ

高齢者には、これらの食品を積極的に摂取する傾向があります。特に高齢者には、これらの食品を積極的に摂取する傾向があります。

3 開食を誘えよう

高齢者には、食欲が減退する傾向があります。そのため、食欲を誘うための方法を積極的に取り入れます。

4 お酒は適量を守ろう

高齢者には、お酒を適量を守る傾向があります。そのため、お酒を適量を守るための方法を積極的に取り入れます。

5 飲食は和食にしよう

高齢者には、和食を好む傾向があります。そのため、和食を好むための方法を積極的に取り入れます。

6 地の駅開拓を誇る農園の工夫

高齢者には、地元の農園で栽培された野菜を購入する傾向があります。そのため、地元の農園で栽培された野菜を購入するための方法を積極的に取り入れます。

· 糖果衝力 ·

カルストック

糖尿病とは？

糖尿病は、血液中の glucose 濃度が高くなる病気です。主な原因は胰島細胞から分泌される insulin の不足です。insulin が足りないと、筋肉や脂肪細胞が glucose を取りこむことができず、結果として血糖濃度が高くなります。

山形町の状況は？（糖尿病の可能性が高い人の割合）

年齢層	糖尿病の可能性が高い人の割合 (%)
20歳未満	1.5
20歳以上	2.5
30歳以上	3.5
40歳以上	5.5
50歳以上	10.5
60歳以上	15.5

なぜ糖尿病にならぬか？

糖尿病のリスクを下げるためには、以下の点に注意が必要です。

- 食事：糖質を控えめにし、野菜や果物を多く摂取する。
- 運動：定期的な運動を行う。
- 睡眠：十分な睡眠を確保する。
- ストレス：適度なストレス管理を行う。

スマートフォンで活用できる歩数計と正確測定

スマートフォンの歩数計機能を活用して、歩数を計測する方法と、正確な測定方法を紹介します。

糖尿病の特徴

糖尿病は以下の特徴を持っています。

- 1型糖尿病：免疫系が正常な insulin を産生しない病気です。
- 2型糖尿病：正常な insulin を産生するが、効率が悪い病気です。

東京

食事石鹼をバランスよく食べよう

食事の内容が重要です。バランスの良い食事を心がけましょう。今では野菜を多く摂ることで、糖尿病のリスクが低減される傾向があります。

2 食欲を揺らし、甘いもの我慢しよう

甘いもの我慢をするのは、ついスイーツが嘴に止まってしまう時もありますが、我慢できなくて食べてしまうと、糖尿病のリスクが高まります。

お酒は適量を守ろう

お酒の飲用量を守るには、以下の4つのルールがあります。

- 1 飲酒量を控えめにする
- 2 わざと酔わせない程度にする
- 3 ワインやビールなどのアルコール飲料を飲む
- 4 実際の飲酒量を記録する

運動強度を増す？

運動強度を増すことで、一日の消費カロリーを増やすことで、2日は軽症日を防ぐことができます。

喝水	牛乳 (200ml)	100ml
ビール 中ビール (330ml)	190ml	
酒類 150ml (30g)	90ml	
ワイン ブラスニ (180ml)	100ml	
イースト オブリ (180ml)	120ml	